

柏崎発暮らしのススメ情報誌

# 柏崎時間



2016年12月発行  
発行/柏崎市 総合企画部 企画政策課 〒945-8511 新潟県柏崎市中央町5番50号



見つけた、私の幸せ時間。

# 柏崎ファンクラブ

## 会員募集中!



### あなた × 応援 × かしわざき

柏崎を愛する人たちが集い、柏崎のさまざまな魅力をセールスパースンとして発信していく柏崎ファンクラブ。会員同士が親睦を深め、楽しみながら柏崎の魅力を発見して柏崎のシティセールスの一翼を担ってください。

あなたの応援でかしわざきが変わります!

Webサイトから入会できます!

柏崎シティセールス公式ホームページ  
こちら → [柏崎シティセールス](http://kz-cs.com/)  
<http://kz-cs.com/>



柏崎市公式ホームページ  
こちらからも → [柏崎ファンクラブ](https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/sesaku/shise/city/citysales/fanclub.html)  
<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/sesaku/shise/city/citysales/fanclub.html>



# 私のスタイルで 暮らす。

キラキラ光る海、潮騒、磯の香り

私の好きなもの

その街で暮らす幸せ

海にも、山にも近く

それでいて暮らしに便利な街

私にぴったりの柏崎

## CONTENTS

- 3 特別インタビュー at KASHIWAZAKI  
池谷 薫さん 遊佐 雅美さん
- 9 One Day ストーリー ある1日の柏崎の風景
- 11 柏崎イベントカレンダー
- 12 柏崎時間4つの物語  
矢島 衛さん / 水戸部 智さん / 工藤 孝一さん / 荒川 亜弥乃さん
- 23 地元大学生が教えてくれた お気に入りの柏崎
- 25 安全・安心なまちを目指して ～消防の現場から～
- 27 柏崎市の移住・定住支援
- 29 柏崎市の概要

【特別インタビュー】



KASHIWAZAKI

ライフガード\*  
柏崎ライフセービングクラブ 理事

池谷 薫さん

Iketani Kaoru

ライフセーバー\*  
元ビーチラッグス世界チャンピオン

遊佐 雅美さん

Yusa Masami



Profile

遊佐 雅美さん ●ゆさ まさみ

神奈川県川崎市出身。43歳。専門学校教授で小峯力氏(現中央大学教授)が問いかけた「あなたの愛する人が目の前で溺れていたら、助けることができますか」ということをきっかけにライフセービングを始める。世界大会での優勝4回、全日本選手権大会では前人未踏の17連覇を達成。2014年池谷さんと結婚。柏崎市に居住する。

\*ライフガード、ライフセーバー  
ライフセービング活動が盛んなオーストラリアでは、職業としてライフセービング活動を行っている人を「ライフガード」、ボランティアで行っている人を「ライフセーバー」と呼んでいます。

Profile

池谷 薫さん ●いけたに かおる

東京都杉並区出身。43歳。新潟産業大学在学中にライフセービングクラブを立ち上げる。オーストラリアで本格的にライフセービングを学び、帰国後ライフケアー柏崎を設立。プロのライフガードとして活動する一方、ライフセービング競技会に出場。2004年日本ライフセーバーオブザイヤー受賞。同年ライフセービング世界選手権で日本代表チームのキャプテンを務める。

見つけた！私の柏崎時間 この素晴らしさをみんなで楽しみたい

ライフセービングのメッカ  
「オーストラリア」で  
初めて出会う

—遊佐さんは競技者としての実績もあり、ずっと太平洋側で活動をされてきました。池谷さんと結婚して日本海側に来ることになつて不安を感じなかったですか？

遊佐：最初はライフセービング関係の友人しかいなくて「大丈夫かな」と少し不安でしたが、彼がいろいろな方たちと交流を深めてくれたので、こちらの生活にすんなり入ることができました。

池谷：私は1992年に新潟産業大学に入学したのですが、小さい頃からライフガードに憧れがあり、たまたま市役所が募集していたアルバイトに応募したんです。柏崎市は新潟県内で海水浴場の数が一番多いのですが、前年に県内で最も多く水難事故で犠牲者を出していました。私はそんなことも知らずに、知識も技術もほとんどないままライフセーバーとして過ごし、犠牲者ゼロでその夏を終えました。それで役所の方や関係者の方から活動を評価していただき、自分が感じたやりがいや大学の仲間と共有したいと考え、学内にライフセービングクラブを立ち上げたんです。柏崎の海水浴場を産業大の学生だけで

監視ができるくらい、どんどんメンバーを集めました。卒業後は東京に戻ろうと思っていたのですが、今まで我流でやってきたので、もう少しきちんとした形でライフセービングを地域に根付かせたいという思いが募り、ライフセービングの本場と言われるオーストラリアに1年間留学して専門的な知識と技術、考え方を学びました。そんなとき全豪選手権大会に出場することになり、ゴールドコーストに行くんですね。そこで初めて彼女に会ったわけです。





スタートから3〜4秒で勝敗が決まるビーチフラッグスは、瞬発力・集中力・判断力が求められる

遊佐：そのときは、あいさつを交わす程度でした。

池谷：彼女はその大会で優勝するんですが、私は「すごい女性だな」と思いました。

遊佐：オーストラリアには「全豪選手権で優

そして二人は2012年に結婚。柏崎で生活を始めます。

池谷：結婚当時、彼女はライフセービング界で「生きるレジェンド」と言われていました。私も「師匠」とか「仙人」とか呼んでいました。17年連続で優勝するなんて本当に「すごい人だ」と思います。ライフセービングはマイナー競技ですが、若い人は体育大学の学生や体力自慢で肉体を鍛えている人たちがたくさんいるので、その中で常に優勝し続けるというのは、本当にすごいことです。

——そんなすごい方に池谷さんが「柏崎に来てください」とお願いしたのですか？それとも遊佐さんが「私、柏崎に行くわ」と？

池谷：行くわって感じか？

遊佐：……。笑

——いま、どんなふうに柏崎生活を楽しんでいますか？

勝する」という目標をもって来ていたので、それが全てという気持ちがありました。彼は爽やかな好青年といった印象で、同い年だと聞いて「こういうすてきな人が新潟で頑張っているんだ」と思いました。

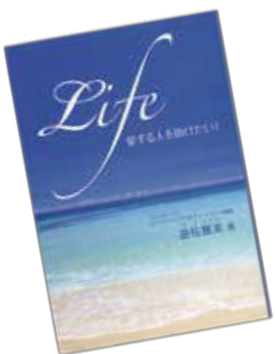
池谷：同じ年齢で同じ競技、同じ種目をやっているのだから、その後も会えばあいさつを交わし、98年・99年・2000年と3年連続で柏崎ライフセービングクラブが主催するローカル大会を開催したときは、ゲストとして来てもらいました。その後の12年間は大会会場で会うと「おう、今日も頑張ろう」ああ、元気」とあいさつを交わす程度の関係でしたね。

### 見つけた！ 私の心地よい時間

遊佐さんは、その後国際大会で何度も優勝し、全日本選手権でも17連覇を達成するなど華々しい競技生活を送ります。2010年に突発性難聴に見舞われますが、翌年の全日本選手権で見事復活、優勝を飾ります。

遊佐：柏崎は、ビーチサッカー、水球、セーリング、スタンドアップサーフィン、シーカヤックなどが盛んな町なので、それらを通していろいろな方たちと交友を深めています。冬は雪が降りますが、トレーニングだと思って雪かきを楽しんだり、スノーボードを彼から教えてもらった。一年を通してスポーツを楽しんでいます。42kmの海岸線、砂浜があつて、どこでも練習できますし、陸上競技場やウエートトレーニング施設も整備されています。スポーツをする人にとっては、すごくいい環境ですよ。

遊佐さんは「海から徒歩圏内での生活には昔から憧れていた。……それに何よりも、ライフセービングを生涯続けていくために」と著書『Life 愛する人を助けたい!』で書いています。



遊佐さんのお気に入り



### 鯨波海水浴場

市内には海水浴場が15あるが、遊佐さんのお気に入り、水の透明度が素晴らしい鯨波。「最近は何鳥もいない。挙げる時がないですね」(遊佐さん)

柏崎市大字鯨波 ほか

池谷さんのお気に入り



### 海岸線に点在するサーフポイント

「サーフィンに寝る間も惜しんで行きたいくらい好き」と池谷さん。荒浜海岸や中央海岸は、絶好のサーフポイント。関東の波は夏に立つが、日本海側のベストシーズンは秋から。「関東は混雑しているようですが、こちらは混雑もなく最高です」(池谷さん)



——今住んでいる家は、どんな家ですか？

池谷：中越沖地震（2007年）を機に購入した家ですが、砂浜まですぐ行けるので二人とも気に入っています。三階建てで、ベッドを並べると20名以上が宿泊できます。柏崎には、北海道や沖縄など全国からライフセーバーがやって来ますが、夏場は彼らの宿泊所として利用してもらっています。

遊佐：朝昼晩の三食はみんなで自炊しています。お米や野菜を自家菜園されている方たちが「今日、採ったからみんなで食べて」と持って来てくださったり、海水浴場の監視所に常駐している看護師さんおにぎりを作ってくださいます。多くの方に支えられながら楽しくやっています。

——柏崎暮らしでいいなと思うことは？

遊佐：いっぱいありますが、一番感動したのは夕陽がきれいなことです。サーフィンが楽しめる青海川や岩場のある鯨波、遠浅で透明度のある石地など海も場所によってさまざま

リンスポーツやウインタースポーツが楽しめるので、自然のある暮らしを満喫したい人には最高でしょう。ライフセーバーがいる柏崎の海は、夏は海水が30度もあつて波もなく駐車場やトイレもしっかり整備されているので、ファミリーが安心して楽しめます。透明度が高く太平洋側と比べたら比較できないほどきれいな海なので、シュノーケリングをするのにももってこいですよ。一度来た人は感動して、毎年来るようになります。

——すっかり柏崎に馴染んでいますね。

池谷：大学卒業後、全日本選手権に行ったら「柏崎の池谷」と言われたんです。どこに行くにも「今、柏崎の池谷が何位です」とくる。そのうち柏崎を背負っているという気持ちになり「自分は柏崎の人間なんだ」と思うようになると、いろいろな人とききあえるようになっていました。今考えると、こちらが協力をお願いしたときには、ご理解いただいてやりたいことをやらせてもらっていた気がします。突っぱねられることもありませぬし、信用していただいているんだなと感じています。

表情をもっているんで、その日の気分に合わせて車でちょっと出かけたりにしています。食事もおいしいですね。お米もお酒もおいしい。柏崎には酒蔵がいくつかあるので、出かけることもあります。試飲ができるのも魅力ですね。関東から友人が来ると、必ず連れて行きます。

池谷：柏崎の冬は雪がしんと降りませんが、海沿いはあまり積りません。海もあるし山もある。不自由がない程度に何でもさうから、「あまり田舎過ぎても困るな」という人には、結構住みやすいと思います。気軽にマ





# One Day

ある1日の柏崎の風景

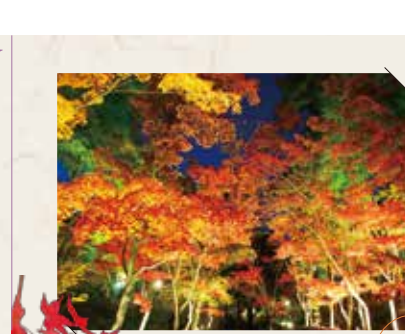
## ストーリー



### 冬

白鳥の飛来とともに冬が到来。  
温泉やスキーに出かけて、  
身も心もリフレッシュ。

Winter



### 秋

色鮮やかな紅葉の絨毯、  
谷根川を遡る多くの鮭の群れ。  
豊穣の秋がここにあります。

Autumn



### 夏

山開き、海開きが終わり、  
いよいよ本格的な夏がスタート。  
海水浴場に多くの人々が訪れます。

Summer



### 春

雪割草の可憐な花が春を告げ、  
桜が咲きはじめる。  
柏崎も春本番を迎えます。

Spring

感動を体験しに行こう!

# 柏崎 イベントカレンダー

海や山、自然が豊かな柏崎では、1年を通してさまざまなイベントが行われます。



柏崎時間  
4つの物語  
KASHIWAZAKI Time

海や山があり、暮らしやすいと言われる柏崎。北海道、東京、長野からこの地に移住してきた4人の男女にその暮らしぶり、仕事ぶりをうかがいました。

## 雪割草まつり



日本海を見下ろす小高い丘に位置する「大崎雪割草の里」。約30万株の可憐な雪割草が群生する雪割草の名所を会場に、雪割草の観賞をはじめ展示販売やご当地グルメが楽しめるイベントです。雪割草の育て方も習えます。

日 毎年3月の第3土曜・日曜 第4土曜・日曜  
所 大崎雪割草の里 柏崎市西山町大崎822

春

## えんま市



村上大祭(村上市)、蒲原大祭(新潟市)と並ぶ「新潟三大高市(たかまち)」の一つ。間廬堂のある本町通りを中心に、たこやきやぼっぼやきなど全国から集結した500以上の露店が立ち並び、20万人を超える人手で賑わいます。

日 毎年6月14日～16日  
所 本町通りほか 柏崎市東本町、西本町

初夏

## ぎおん柏崎まつり 海の大花火大会



海を舞台に「尺玉300連発」「600mワイドスターマイン」などが楽しめる大花火大会。長さ1.5kmに渡り尺玉が一斉に花開く「尺玉100発一斉打上」は迫力満点、見応えがあります。

日 毎年7月26日  
所 みなとまち海浜公園周辺

夏

## 狐の夜祭り



高柳町に伝わる「藤五郎きつね」の民話をモチーフにした幻想的なお祭り。栃ヶ原の狐に扮した人々が畳一畳の大油揚げを揚げ、提灯をかざしながら約3kmの山道を練り歩いた後、麓の漆島地区で狐の踊りを披露します。

日 毎年10月上旬の日曜  
所 柏崎市高柳町栃ヶ原地区～漆島地区

10月

秋初

## さけ豊漁まつり



谷根川(たんねがわ)にたくさんのサケが戻ってきたことを祝うお祭り。暴れ回る大きなサケを手つかみで捕る「さけのつかみ捕り」が子どもたちに大人気。熱々のさけ汁やいくらがたっぷり載ったイクラ丼でお腹も満足。

日 毎年11月の最終土曜・日曜  
所 柏崎さけのふるさと公園 柏崎市大字青海川81-4

11月

秋

## 高柳雪まつり「YOU・悠・遊」



住んでみたい田舎として人気の「じょんのびの里 高柳」を舞台に、巨大餅つき大会やキャラクターショー、大迫力の雪上花火などが楽しめる冬のお祭り。近くにファミリー向けスキー場や日帰り温泉もあり、冬の日をアクティブに過ごせます。

日 毎年2月の最終土曜・日曜  
所 高柳小・中学校グラウンド周辺 柏崎市高柳町岡野町1516

冬

2月

カフェと農業、移住定住の情報発信で  
100年後も集落を存続させたい



カフェのコンセプトは「新しい出会いの場」と矢島さん

卒業論文を書くために母の実家(1100年続く神社の神主)がある柏崎市郊外の集落に調査に来た<sup>やじま まもる</sup>矢島 衛さんは、<sup>なおらい</sup>直会\*で集落の人たちが土地への思いを語るのを聞いて、「この集落を存続させたい」と柏崎に移住。2016年の秋、念願のカフェをオープンさせました。

\*直会…お祭りの後に、神前に備えた御饌御酒(みけみき)を参列者でいただくこと。

Profile



**矢島 慶子さん**  
柏崎市出身。34歳。東京でアパレルメーカーに勤務した後、Uターン。衛さんとは、IT企業の同期入社で2012年に結婚。2015年に野菜ソムリエの資格を取得し、カフェの運営に携わる。

**矢島 衛さん**  
東京都中野区出身。32歳。大学卒業後、2007年に母の実家がある柏崎市小清水の集落に移住。集落を100年後も存続させることを目指して「ひゃくいねんの会」を設立。自身の移住生活を綴ったブログが人気。

最初の仕事は、居酒屋のアルバイト

大学を卒業してすぐ、誰も住んでいなかった祖父の家に移住しました。最初にしていたのが仕事探しで、フリーペーパーで居酒屋のオープニングスタッフのアルバイトを見つけて1年くらい働きました。当時は、社会人とはいえ学生気分が抜けず仕事に対するプライドもなく、家とバイト先を往復する日々。今と違って地方創生とか移住ということばもなかったし、何をどうやっていけばよいのかもわかりませんでした。「まずしっかり生活していくことが大切だな」とだけ考えていました。

春の祈年祭であいさつ。集落の人たちはすごく優しい

移住した年の春の祈年祭に集落の皆さんの前で「ここに住まわせていただきます」とあいさつしたんです。集落ではお祭りが定期的にあつて直会というお酒を飲む機会があるので、そこですん



内装や食器などは慶子さんが担当した

やりたいことをやって元気になった

皆さんと話をするようになりました。次の年には、集落の神社の広場でちよとしたイベントを開催したり、みんなで楽しく交流する場を自分で作っていましたね。集落の人はすごく優しく、野菜を持ってきてくれたり、今でもいろいろと気にかけてくれます。

2010年に地元で元気のIT企業に入社して柏崎になり、私のやりたいことと近いものがあつたからやりがいがあつて楽しかつた。ところが、プロジェクトが終わるとメイン業務のシステム保守の仕事が多忙になりました。やりがいのある仕事で充実感もあつたのですが、その反面「自分はこれをやるために移住してきたんじゃない」とだんだん思うようになって…。妻が言うには「自分のやりたいことと現実のギャップを感じて、落ち込んでつら

大切なのは、自分が主体的になって活動していくことだと思つています。

そうだった」とか。妻も「旦那さんには、やりたいようにやって元気できてほしい」と応援してくれ、農業なら働きながらしっかり勉強もできて生計もたてられると考えると、2014年に農業法人に転職しました。今は、お米づくりの勉強をしています。

2015年には自分の考えがどこまで通用するか試したくて柏崎青年会議所が主催するビジネスコンペに応募し優勝したのですが、自分の考えを評価してもらえないんだつたら、ちゃんと発信して行こうとさらに積極的になりました。今の時代、どこに住んでも環境に大差はないと思うんです。車の性能は良いし、道路だってきちんと整備されている。除雪だってしっかりしてもらえます。やろうと思えば山奥にいても何でもできる。大切なのは、自分が主体的になって活動していくことだと思つています。

矢島家のお気に入り

ばくばく 麦麦ベイクのパン

休日は家族で公園に行くことが多いという矢島さん。高柳や長岡に行くときは、高柳の山中にある麦麦ベイクでおいしいパンを買ってみんなでバクバク。「あの場所で多くのお客さんを惹きつけているのはすごい。ぜひ見習いたい」と矢島さん。



柏崎市高柳町山中3673 ☎ 0257-41-3032



まちの今後は、僕にとって自分事  
第二のふるさと柏崎で、  
まちづくりをサポートする



新潟工科大学(柏崎市)で建築学科の学生だった水戸部 智<sup>みとべ ともち</sup>さんは、中越沖地震(2007年)で被災した商店街の復興プロジェクトに参加、「まちづくり」に関わるようになります。「物言うNPO」として、柏崎のまちづくり活動に携わっている水戸部さんにお話をうかがいました。

Profile

**水戸部 智 さん**  
長野市出身。29歳。NPO法人柏崎まちづくりネットあいさ事務局長。新潟工科大学在学中に田口太郎准教授(現徳島大学地域創生センター副センター長)の勧めで商店街の復興プロジェクトに参加。家族は、高校時代の同級生 裕香(ゆうか)さんと1女。



大学に入学したものの目標を失い  
アルバイトの日々

僕は公園作りを学ぶために、新潟工科大学のある柏崎市にやってきました。ところが入学してみると、工科大学では公園作りを学べるカリキュラムはなく、家の設計や積算などのいわゆる一般的な建築学を学ぶカリキュラムが中心だということがわかりました。1〜2ヶ月経た頃には勉強をする気も失せ、夕方からラーメン店のバイトに出かけて休む暇もないくらい働きました。大学の近くで一人暮らしをしていたのですが、近所付き合いもなく、アパート、大学、バイト先の3点で成り立つ生活を2年以上送っていました。

新任の准教授はまちづくりの専門家

大学三年の10月に、田口太郎先生が准教授として着任してきました。田口先生は、市民参加型のまちづくりが得意。講義はおもしろく、先生の



「社会起業家をたくさん生み出して、育てるのが僕の仕事」(水戸部さん)

研究室に通うようになりました。そんなとき、田口先生から「えんま通り商店街の復興プロジェクトに参加しないか」という話をいただいたのです。その年は7月に中越沖地震が発生し、えんま通り商店街は約半分が全壊し壊滅的な状態でした。そんな中で僕たちは、商店街の方々と議論をしながら、みんなで復興ビジョンや復興計画作りに取り組むことになりました。僕はそれまで柏崎の古いまち並みや商店街をほとんど知りません。プロジェクトに参加して初めて「あっ、こんなマニアックで面白そうな店があるんだ」と知ったのです。3点しか知らなかった僕の生活に地域が入ってきて、ようやく柏崎生活が始まりました。

日々変化しているこのまちで、  
市民活動をバックアップ

卒業したら長野にUターンするつもりでしたが、商店街の復興の歩みを最後まで見届けたいと思いついて残りました。長野はふるさとですが、高校までしか住んでいなかったもので、そんなに深くまちのことを知っているわけではありません。むしろ大学でみっちり勉強しながら貴重な時間を費やしてきた柏崎の方に思い入れがありました。今は市民活動を支援するNPO法人を立ち上げ、年間約600件の相談を受けながら、まちづくりのために活動しています。権力にしっかり物を言わ

なければいけないときなどがあり、地縁、血縁のしがらみが少ないのは強みですよ。柏崎市は人口が10万人に満たないまちなので、何か新しいことを始めたときにみんなに知らせるのは結構スムーズにできると思います。新しい土地で新しいことにチャレンジするとき、このくらいの規模のまちに住むのがちょうど良いのではないのでしょうか。



休日は家族で公園へ。愛娘の稜(りょう)ちゃんは柏崎のPRキャラクター「えちゴン」が大好き(撮影:みなとまち海浜公園)

水戸部さんのお気に入り

中華料理  
ハルビンの担々麺

本格派の担々麺。ザーサイ等が入った炒め物を上に載せ、濃厚ながらもさっぱりした味に。「柏崎のラーメンは、味も量も食べ応え満点です」(水戸部さん)



柏崎市東本町2丁目7-54-1  
0257-22-4887

実はワタシ、マダイを初めて釣ったのは  
柏崎に来てからです



札幌の大学で非常勤教員をしていた工藤 孝一くどう こういちさんは、縁あって28歳のときに柏崎市に本社がある日本メッキ工業株式会社に転職。技術部部長として技術の向上に奮闘する日々を送る傍ら毎週のように釣りを楽しんでいます。「柏崎に来てから釣りにはまりました」と言う工藤さんに、海釣りの魅力をうかがいました。



**工藤 孝一 さん**  
北海道札幌市出身。44歳。北海道工業大学(現北海道科学大学)を経て日本メッキ工業株式会社に入社。生産管理業務等に携わった後、2007年から現職。家族は精神保健福祉士の妻と3女。

**日本メッキ工業株式会社**  
本社:柏崎市田塚。創業1949年。社員数144名のメッキ専業大手。硬質クロムメッキ、無電解ニッケルメッキなど大型、長尺を得意とする。機械製造や製罐業など24社が集まる柏崎機械金属団地に本社がある。

最初は、工場見学だけのつもりでした

札幌に最初に来たのは3月の初旬くらいで、札幌から夕方の飛行機で新潟に着いて、そこから柏崎駅前にバスで向かいました。日曜日の夕方だったので駅前でごはんでも食べようと思っていたのですが、着いてみると駅前は真っ暗で営業しているお店もなく「ずいぶん寂しい町だな」と感じたのを覚えています。工場見学だけのつもりだったので、関矢常務(現代取締役社長)に熱心に誘っていただき、入社を決意しました。そのとき28歳だったのですが、仕事ができるのならどこでもなんでもやってみよう、新しい土地で挑戦して、こういう気持ちで勝っていました。今はもう、当時のようなことはできないかもしれませんが。若いってすごいことです。



「およそすべての業務にはそろっています」と工藤さん

車を運転して  
あちこち行くのが  
好きですね

札幌は人もたくさん住んでいるし、何でも溢れていて生活しやすい街だと思えますが、私にとってそれは重要ではなかったんですね。



10kgを超すマダイが釣れることも

とも釣りや野山が好きなので、札幌時代は車や釣路や知床の野山に出かけたり流水に乗ったりして自然を満喫していました。柏崎に来てからも車でよく出かけました。柏崎マリーナのあたりから夕日が沈むあたりにかけては、景色がすごく好きです。山が好きで登りに行っていた時期もありましたが、釣りのようにちよと行つて家に帰つて

来ることができないのでしばらく行つてません。柏崎から東京までは2時間半もあれば着いてしまいます。日帰りで出張や遊びに気軽に行けるからそんなに不自由を感じたこともありません。釣り好きが高じて、平日は夜釣りに、週末は毎週のように友人の船に乗って沖釣りに出かけます。春先はずっと沖に出てハチメ、春になったらマダイ、そのちよと後からはヒラメで6月あたりに真

家族サービスもしっかりやっています  
35歳のときに柏崎で生まれ育った妻と結婚して8歳、6歳、4歳の娘がいます。週末は3時や4時に起きて釣りに行き、朝の9時には自宅に戻つて家事を手伝ったり、天気良ければ家族で市内の公園に出かけたりしています。娘たちには、幼少期に柏崎で過ごした思い出をたくさん持つて成長してほしいと願っています。

工藤さんのお気に入り

海上から見た  
柏崎の景色と米山

「海から見た米山の姿は最高ですね。少し視点を変えるだけで、ものすごくいい柏崎の姿に出会えました」(工藤さん)。米山は標高993m。日本三大薬師の一つを祀っている霊峰。



柏崎市大平、谷根、高群

柏崎という大きな家族と自然の中で  
子どもたちをのびのびと育てたい



9歳、7歳、5歳と、3人の男の子のママである荒川亜弥乃さん。  
東京で東日本大震災を経験したことをきっかけに、  
一家で柏崎へUターンしました。  
やんちゃ盛りの子どもたちの世話に、仕事にと忙しい毎日を  
過ごしていますが、その表情は穏やかで自然体そのもの。  
ご主人や義父母をはじめ、地域の人たちの協力を得ながら、  
伸びやかに子育てを楽しんでいます。

柏崎で生まれ育ち、  
結婚を機に東京へ

県内の専門学校を卒業してすぐ、私は柏崎市  
内で就職しました。主人は学生時代からの友人  
で、東京へ進学し、そのまま就職。東京と柏崎間  
で一年間の遠距離恋愛を経て、28歳の時に私が東  
京に移り住む形で結婚しました。結婚してすぐ  
に長男を出産し、その2年後に次男を出産。東  
京と言っても下町でしたし、専業主婦だったので、  
子育てに孤独感を感じるとか、保育園に入れない  
とか、そういった問題にはあまり直面せずに暮ら  
していました。

東日本大震災で  
家族を守るののだろうか  
不安が増大

柏崎に戻ろうと決めたのは、東日本大震  
災が起きてから。主人は帰宅難民となり、  
家に長いこと帰ってこられませんでした。ラ  
イフラインは無事でしたが、私は2人の幼  
子を抱えて、近くに頼れる人もいない状態。



**荒川 亜弥乃さん**  
柏崎市出身。38歳。専門  
学校卒業後、柏崎市内で  
就職し結婚を機に上京。  
東日本大震災の翌年に柏  
崎市内にUターンし、現在  
は市内の特別養護老人  
ホームで働く。ご主人の実  
家で会社員のご主人、3  
男、義父母、義祖母の8人  
暮らし。

再び大きな地震が来たらどうなるんだろう、父親が帰ってこれない中、子どもたちを守るのだからか……と。こんなに不安になったことはなかったですね。

意外にも、先に「柏崎に帰ろう」と言い出したのは主人のほうでした。2007年の中越沖地震で義母が怪我をしていたこともあって、「何かあった時、家族が一緒にいられるようにしたい」という思いが強まったようです。

人手がある、目が届くということが本当にありがたい

2012年の春、生まれたばかりの三男を抱いて一家5人で東京から柏崎に戻ってきました。住まいは主人の実家。私の実家もほど近いので、どちらの両親とも喜んでくれましたね。一気に8人家族となりましたが、こちらでは3世代同居が多く、8人家族、9人家族は当たり前。子どもが3人いるのも普通ですね。子どもが4人の家庭もありますしね。

子どもが3人いると、人手があること、人の目が届くということが本当ありがたいんです。家事は大おばあちゃん、おばあちゃん、私の3人で分担してやっていますし、誰かが子どものことを見ていてくれるので、安心ですね。

もともと地元だったとはいえ、新しいコミュニティの中に入っていく時は緊張するものですが充実した子育て支援のおかげですぐにお友達やつながりができました。もともと知っている人たちもいるので、今では町内全体がゆるい家族のような感じですね。

旬の野菜が手に入り、魚も新鮮。東京の友人にうらやましがられます

三男が1歳になったところに仕事を探し始めました。ちょうど人づてにパート勤めの話が来て、そのまま正職員になることができました。主人も「実家だから当面は暮らせるだろう」と無職のままUターンしてきたんですが、1ヶ月後には見つけられましたね。



誰でも利用できる「子育て支援室」ですぐに打ち解けられました

柏崎に戻ってきてしばらくは三男が乳児だったため、育児に専念。働いていませんでしたが、子どもたちを連れて保育園に通っていたんですよ。柏崎市内の保育園では「子育て支援室」を開設していて、働いていなくても、未就園児を連れて遊びに行けるんです。また毎週金曜日は近くの「西山町いきいき館」が開設する「ふれあい子育てサロン」にも参加していました。

私は現在フルタイムで働いているので、おばあちゃんに学校から帰宅した上二人の面倒を見てもらっています。

実は私、平日は料理はしていません(笑)。平日はおばあちゃんが食事の支度をしてくれているんですが、これが美味しくて。大おばあちゃんが畑で作った季節の野菜を、おばあちゃんが料理して、子どもたちももりもり食べています。魚も新鮮で美味しいし、東京時代の友人が夏に遊びに来ますが「うらやましい」といろいろ買い込んでいきますよ(笑)。

豊かな自然と人の温もりの中でのびのびと育てほしい

現在長男が小学校3年生、次男が小学校1年生、三男が保育園の年中組。ますますやんちゃ盛りの子どもたちですが、自然いっぱいの中で、のびのびと子育てができて、帰ってきて良かったなあと思います。これが東京だったら、もっとガミガミ言っていたかも。柏崎は海も近いし、山もすぐそば。高柳の新潟県立ことも自然王国をはじめ、西山ふるさと公苑など、広々とした遊び場もいっぱい。春は赤坂山の桜がきれいだし、夏は海水浴と海の大火大会。6月のえんま市も毎年家族で出かけています。この冬は子どもたちとウィンタースポーツに挑戦したいと思っています。

荒川家のお気に入り

えんま市

江戸時代から200年以上続く、柏崎に夏の到来を告げる行事。約2kmの通りに500軒もの露店が立ち並び大規模な市で、期間中は20万人以上の人出で賑わう。「子どもたちも毎年楽しみにしています」(荒川さん)。



■ 毎年6月14日、15日、16日  
■ えんま市通り、びっから通り、ニコニコ通りほか

荒川さんのおすすめスポット

西山ふるさと公苑

「広々とした広場があり、西山ふるさと館の中で休憩することもできるので、子どもたちと遊びに行きます」(荒川さん)。夏の「草生水(くそうず)まつり」や秋の「にしやま新そば祭り」など、地域のイベントも行われる。



■ 柏崎市西山町坂田717-4 ☎ 0257-48-2839



地元大学生が教えてくれた

# お気に入りの柏崎

海と山に囲まれ、自然豊かな柏崎。若者にはちょっと物足りない…？  
いえいえ！若者だって楽しんでます。海にラーメンにおしゃれなカフェに、  
柏崎の2つの大学に通う学生が「おすすめの柏崎」を教えてくださいました。



キャプテン  
副キャプテン  
新潟産業大学  
経済学部経済経営学科3年  
神谷 省吾さん(千葉県出身)  
Shogo Kamiya  
新潟産業大学  
経済学部経済経営学科3年  
白川 大地さん(兵庫県出身)  
Daichi Shirakawa

新潟産業大学水球部のキャプテン・副キャプテンを務め、  
日頃から仲の良い2人に案内してもらいました！

## 日本海を満喫できる複合施設

### 日本海フィッシャーマンズクープ

新鮮な海の幸を味わえる飲食店や鮮魚センター、観光名所、宿泊施設が隣接。ご当地グルメ「サバサンド」や「鯛茶漬け」を楽しめます。

柏崎市青海川1133-1 ☎ 0257-22-4910

名物のサバサンドはレモンが効いていておいしい！小腹を満たすのにぴったりなサイズです。恋人岬から見える景色が僕のお気に入り。海に沈む夕日は本当にきれいなんですよ。(白川)



## 清流 谷根川が流れる憩いの場

### 柏崎さけのふるさと公園

さけを中心に自然環境や生命の大切さを学べる施設。毎年11月下旬に「さけ豊漁まつり」を開催し、さけ汁やイクラ丼を販売します。

柏崎市大学青海川181-4 ☎ 0257-26-2305

公園を流れる谷根川(たんねがわ)はさけが遡上する様子を間近で観察できて迫力満点！荒波を越えて遡上するさけの姿を見て、「自分も頑張ろう」と元気をもらえるんです。(神谷)



2人が通う

## 新潟産業大学

地域おこしの大学を目指して、1988年に開学。地域社会や地元企業との連携に力を入れている。

柏崎市軽井川14730 ☎ 0257-24-6655



新潟工科大学学生が制作する柏崎コミュニティFM放送局のラジオ番組「にこラジィ」代表の小林さんがおすすめするお店はこちら！

新潟工科大学  
工学部環境科学科3年  
小林 由衣乃さん(見附市出身)  
Yukino Kabayashi

## 一人でも気軽に行ける

### そばよし

創業40年を迎える、学生や地元客でにぎわうラーメン店。盛りが多く、花びらのように広がるチャーシュー麺や具だくさんの焼そばが人気です。

柏崎市駅前2丁目1番70号 ☎ 0257-23-9337

午後から講義の日は大学に行く前にここで昼を食べます。おすすめはボリューム満点で中華スープ付きの焼そば！素朴な味付けがおいしくて、いつも頼んでしまいます。



↑焼そば 780円(税込)



## アットホームな隠れ家カフェ

### et cetera えとせとら

季節の野菜にこだわり、体に優しいランチやスイーツ、コーヒーを提供するカフェレストラン。2ヶ月に1度、映画上映会を開催。店内で自然食品の販売も行っています。

柏崎市新橋3-29 ☎ 0257-21-8558

オーナーが作る日替わりケーキセットがおすすめ！食事のメニューも豊富です。つつい長居してしまう居心地の良さが気に入っています。



↑ケーキセット(生チョコ) 500円(税込)



小林さんが通う

## 新潟工科大学

企業と連携した修学支援で実践的なキャリア教育を実現。ものづくりの視点を重視した工学教育を行う。

柏崎市藤橋1719 ☎ 0257-22-8111

# 安全・安心なまちを目指して ～消防の現場から～



柏崎市消防署では、市民の安全・安心な暮らしを守るために、  
火災・救急・救助などの災害出動要請に  
24時間体制で対応しています。  
2011年に入署したフレッシュな二人に  
日頃の活動の様子を聞きました。



救急係 小川 はるか さん (26歳)

新潟医療技術専門学校卒業後、入署。  
取得資格は大型車両免許、第2級陸上特殊無線技士、  
救急救命士。

「二人とも柏崎市出身ということですが、消防士を目指すきっかけは？」

田川：大学在学中に中越沖地震(2007年)を経験したのが大きいですね。柏崎市の被害が甚大で、何とかしなければいけないと思ったのがきっかけです。

小川：私は子どもの頃に消防車や救急車に乗ってみたいと思ったのが原点になっています。専門学校で3年間、救命士の勉強をし、実習で初めて乗車したのですが「うれしい」というよりは「なかなか難しい世界だな」と実感したのを覚えています。

「消防係の仕事は、消火活動だけなのですか？」

田川：普段は、火災時に使う水利整備などの業務を行っています。勤務日によっては、救急や救助業務に就く日もあり、オールマイティにこなせる能力が要求されます。

「最後にご自分のモットーを教えてください。」

田川：体力が求められる仕事ですし、日頃の訓練をしっかりこなすことが大切だと考えています。確実に訓練をこなして、現場で力を発揮していきたいと思っています。

小川：任せられたことは全て自分でやりきる」をモットーに、強い意志を持って任務を遂行していきたいと思っています。

「本日は、ありがとうございました。」

消防署3階にある指令室。エリア内の119番を受け、消防署や分遣所に指令を流す

消防署の若手は潜水士の資格を大概取得しています。ライフセーバーさんと水難訓練を行って連携を図ったり、柏崎刈羽原子力発電所に行つて警防調査を行うこともあります。万が一の

場合にすぐ対応できるように、実際に内容を想定して合同訓練も行っています。

小川：夏になると関東や群馬県・長野県から海水浴に来られる方が多く、オコゼに刺されるとかなりの激痛を伴うので、溺れそうになる方もいらっしゃいます。市内の病院の救急診療は、柏崎総合医療センター、新潟病院、柏崎中央病院が担当し、



消防係 田川 浩史 さん (29歳)

新潟医療福祉大学卒業後、2度のチャレンジを経て入署。  
取得資格は大型車両免許、第2級陸上特殊無線技士、潜水士。



## 柏崎市消防署

管内(柏崎市・刈羽村・出雲崎町)に1署、4分遣所を配置し消防車両を配備。職員は原則24時間体制の隔日勤務。2007年7月に発生した中越沖地震では、原子力発電所へ駆けつけた5人の消防士が、3号機変圧器の火災を消し止めた。

〒 柏崎市三和町8-51 ☎ 0257-24-1500



## 柏崎総合医療センター

柏崎・刈羽地域の緊急医療を担う基幹病院。リニアック(放射線治療装置)と化学療法センターを備え、多様ながん治療を行う。里帰り出産も積極的に受け入れている。

〒 柏崎市北半田2丁目11-3 ☎ 0257-23-2165

# 柏崎市の移住・定住支援

お問い合わせ

柏崎市 総合企画部 企画政策課 Tel.0257-21-2321

柏崎U・ターン情報プラザ Tel.0257-47-7333

## 住宅支援

- 新潟県内にU・ターンにより就職し、柏崎市内に賃貸住宅を契約し入居する方で、一定の条件を満たした方に家賃及び賃貸住宅にかかる費用の一部を支援します。
- 家庭の消費エネルギー、二酸化炭素の排出、地球環境への負荷の低減に寄与することを目的として、住宅に家庭用創エネ・省エネ機器を設置する方に、補助金を交付します。
- 1年以上居住者のいない空き家住宅をリフォーム工事に活用する方に対し、リフォーム費用の一部を支援します。
- 必須工事（バリアフリー化工事、省エネ化工事、耐震化工事）を含むリフォーム工事を行う方に対し、リフォーム費用の一部を補助します。

## 就労支援

- **大学生向け**
  - 県外大学生等で新潟県で行う就職活動等の負担を軽減し、U・ターン就職の促進を図るため、学生が就職活動で移動する際の交通費補助を行います。
  - 柏崎公共職業安定所と管内の自治体、商工会議所や商工会とその会員等で構成される柏崎職安管内雇用促進協議会事業として、就職を希望する大学等の新規卒業予定者を対象とした地元企業見学会・企業説明会を開催しています。

## 高校生向け

- 柏崎職安管内雇用促進協議会事業として、就職を希望する高校3年生を対象とした就職ガイダンス・企業説明会・キャリア教育講演会等を開催し、若者の地元定着・地元就労を推進しています。
- ハローワーク柏崎と柏崎市が連携して開設するワークサポート柏崎を主会場に、若年者を対象とした就職サポート相談・職業適性診断・就職支援セミナーなどの就労支援を行っています。

## 奨学金支援

- 若者の市内定住促進を図るため、柏崎市奨学金の償還金について、一定の条件を満たす方に一部を補助します。
- 奨学金を受けて大学等に進学し、卒業後に柏崎市に居住した方を対象として、奨学金（日本学生支援機構奨学金、新潟県奨学金、柏崎市奨学金、その他市長が認める奨学金）償還金の一部を補助します。

## 子育て支援

- 保護者の通院、冠婚葬祭、学校行事への参加、育児疲れでリフレッシュしたいときなど、一時的に保育が必要なときに、保育園でお子さんをお預かりします。  
**実施園／公立保育園**：西部保育園・松波保育園・北条保育園・高柳保育園・中通保育園・南鯖石保育園・中鯖石保育園・米山保育園 **私立保育園**：なかよし保育園・

はらまち保育園・米山台保育園・ふたば保育園・明照保育園・半田保育園・とうぶ保育園・にしま保育園

- 日曜日や祝日に保護者が仕事のため家庭で保育ができないとき、お子さんをお預かりします。

### 柏崎保育園子育て支援室

- 子どもが風邪や病気にかかり、治りかけているけれど、保育園や幼稚園にはまだ通わせることができないときに、お子さんをお預かりします。

### 病後児保育室「びっころ」 (柏崎総合医療センター内)

- 病気の始まりから治るまでのお子さんをお預かりします。水痘・おたふく・インフルエンザ・溶連菌などの登園許可書が必要な病気はもちろん、通常の保育に参加が望ましくない状態の中耳炎・とびひ・骨折のお子さんもお預かりします。保育士・医師・看護師が一体となり保育・看護をしています。毎日、医師の診察があり、その時に登園許可証の記入もできます。

### 病児保育室「ムーミンハウス」 (国立病院機構 新潟病院内)

- 子育て応援サイト「すくすくネットかしわざき」にて、子育ての制度や情報・イベント等を確認できます。

- 買い物、通院、学校行事、就職活動、リフレッシュ及び急な用事で一時的にお子さんの預かりを希望する方に、柏崎ショッピングモールフォンジェ内「ちびっこ館」でお預かりします。

- 発達に心配のある乳幼児及び就学前のお子さんを対象に、子どもの成長促進や保護者の不安軽減のため、各種の相談を行っています。

### 元気館子育て支援センター療育係

- 子育て中の保護者が安心して過ごし、交流や相談することのできる場所として、保育園や幼稚園に併設されている子育て支援室や元気館子育て支援センター「ジャングルキッズ」を設けています。

- 仕事・家事・育児の両立を支援するため、子育て応援ネットワーク「柏崎市ファミリー・サポート・センター」を設け、子育てのお手伝いを求める方と手伝いをしてくださる方同士が、助け合いながら活動しています。

## その他の支援

- 市内の電気自動車とプラグインハイブリッド自動車の普及促進を図るため、購入の経費について、補助金を交付します。
- 仕事と家庭の両立と男性が育児に積極的に関われる環境づくりを支援するため、育児休業制度を利用した男性労働者を雇用する中小企業等の事業主と育児休業を取得した男性本人に奨励金を支給しています。



柏崎にはコメの山、<sup>よねやま</sup>米山があります。きれいな日本海で海水浴、サーフィン、シーカヤックができます。日本で一番美しい地名（と思う）<sup>おうみがわ</sup>青海川には鮭が上ります。<sup>たんね</sup>谷根には花桃、西山・高柳には雪割草、カタクリが咲きみだれます。松雲山荘の紅葉は日本一と称せられました。

ものづくりのまちであり、多くの自動車に柏崎の技術が組み込まれ、エネルギーを生み出すまちでもあります。五百年の伝統を誇る国指定重要無形民俗文化財「綾子舞」があり、温泉でじょんのび（ゆっくり）できます。水球で東京五輪を目指します。海の大花火大会は海中スターマインが自慢です。

## 柏崎市概要

**特 徴** 1940年（昭和15年）に新潟県で5番目の「市」として発足した柏崎市は、新潟県の日本海側ほぼ中央に位置し、海と山に恵まれた自然豊かなまちです。2005年（平成17年）には、高柳町・西山町と合併。2007年（平成19年）に新潟県中越沖地震で被災しますが、自然と都市機能が調和した魅力あるまちづくりを着実に進めています。

### シンボルマーク



#### 柏崎市のシンボルマーク

柏崎市のシンボルマークには、自然を愛し、環境を大切にする市民の思いが込められています。まちの活力を象徴する波しぶきと日本海、そして大きな夕日。楽しそうに飛ぶ1匹のコウモリは、柏崎市青海川の福浦狸々洞に生息する3種類約2万匹のコウモリを象徴しています。



#### シティセールスシンボルマーク「THE ★ALLかしわざき」

「The all Kashiwazaki」をテーマに、海と花火をメインに景勝・伝統・食など柏崎市が持つさまざまな観光資源をイラスト化。多様性に満ちた柏崎の魅力を表現しています。

<b>位 置</b>	東経／138度33分43 北緯／37度22分8
<b>面 積</b>	442.03平方km ※2014年(平成26年)10月1日現在
<b>人口・世帯数</b>	86,452人・34,807世帯 ※2016年(平成28年)11月30日現在

年間平均気温 降水量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
最高気温(°C)	6.1	6.3	9.6	15.8	20.6	24.0	27.9	30.2	26.0	20.5	14.9	9.6	17.7
平均気温(°C)	2.7	2.6	5.1	10.6	15.7	19.8	23.9	25.6	21.4	15.5	10.0	5.5	13.2
最低気温(°C)	-0.5	-1.1	0.7	5.2	10.8	15.9	20.3	21.5	17.4	11.1	5.5	1.7	9.0
降水量(mm)	285.8	168.9	147.7	101.8	110.8	144.6	222.3	155.9	190.8	204.3	308.5	323.4	2364.7

過去10年間における平均気温は、14.0°C、最高気温39.2°C、最低気温-6.0°C、平均年間降雨量2,228.0mm、平均年間降雪量254.6cmである。

<b>保育・教育関連</b>	保育園 30／幼稚園 5／小学校 20／中学校 12／高等学校 5／中高一貫校 1／大学 2
<b>医療機関</b>	病院 5／一般病棟 63／訪問看護ステーション 5／歯科診療所 42／歯科技工所 8／ 施術所 34／助産所 5／老人保健施設 2 ※2015年(平成27年)4月1日現在

<b>主な産業・産物</b>	<b>主な産業</b> 自動車部品製造を中心とした工業、農業 <b>主な産物</b> 自動車部品(ピストンリング)、菓子、 米(コシヒカリ・越路早生)、日本酒、水産加工物、和紙
----------------	--

<b>主要交通アクセス</b>	<b>自動車</b> 関越自動車道練馬IC⇔北陸自動車道柏崎IC(約300km) 約3時間 <b>鉄 道</b> JR東京駅⇔JR柏崎駅 約2時間30分
-----------------	---